堺都心未来創造ビジョンの概要

背景

堺都心部は、古くから交易などの中心地として、また環濠を有する自治都市として発展しました。一時は、戦災により市街地の大半が焼失する事態に見舞われましたが、そこからめざましい復興を遂げ、大小路筋や大道筋を骨格に現在の市街地が形成されました。
しかし現在、商業環境の変化や施設老朽化などの影響から、来街者や事業所数等が減少しています。
2025（令和7）年に「大阪・関西万博」の開催、2031（令和13）年には「なにわ筋線」の開業が予定されており、堺都心部を変革し、持続可能な都市となるためには、まさに今が重要な分岐点です。
堺都心未来創造ビジョンを推進し、将来にわたって「成長」する堺を実現するために、未来を見据えて常に挑戦し続け、強力な都市ブランドを有する魅力と活力ある都市をめざします。

位置付け

- 堺市基本計画2025、堺市SDGs未来都市計画（2021～2023）、堺グランドデザイン2040、堺市都市計画マスタープラン等が示す将来像を受け、堺都心部の活性化に向けた取組の方向性を示すもの
- 市民、事業者、行政など、多様な主体とビジョンを共有
- 将来動向や取組の進捗を踏まえ、ビジョンは「進化」

目標年次

2040（令和22）年度

短期：概ね2025年度（大阪・関西万博の開催）

中期：概ね2030年度（なにわ筋線の開業、SDGsの目標年次）

長期：概ね2040年度（浅香山駅～堺東駅付近における高野線の高架化）



対象区域

堺都心部の地域資源と取り巻く状況

歴史文化など豊かな地域資源が集積

堺都心部には、歴史ある町家・旧跡、寺社、環濠や堺旧港の水辺、刃物や線香等の伝統産業、阪堺線、さかい利晶の杜やフェニーチェ堺等の文化観光施設など、数多くの地域資源が集積しています。

広域アクセス性が高まり国内外からの来街が期待

今後、なにわ筋線開業を契機に国土軸・大阪都心部や関西国際空港、また大阪ベイエリアなど、多方面からのアクセス性が向上し、国内外からの来街が期待されます。


堺鉄炮鍛冶屋敷


旧堺燈台


文久改正堺大絵図（1863年）
堺市立図書館所蔵

堺都心部に求められていること

より多くの人を惹きつける魅力を備えた堺都心部に向けて必要な視点

・地域資源を活用し都市魅力を高める
商業、業務等の集積、歴史文化などの地域資源や道路、広場等の公共空間を活用することにより魅力を高め、都市イメージや認知度を向上

・人中心の都市空間を形成する
自家用車から公共交通への利用転換や、道路等を活かした居心地が良く歩きたくなる環境の構築などにより人中心の都市空間を形成し、交流を促進



〈堺東エリア〉
○様々な都市機能が集積し、多様な人が交流する堺の中心
・商業、業務、文化などの様々な都市機能の集積を活用し多様な来街を促すエリア
・堺駅、環濠、古墳群など様々なエリアと交わり、観光客など多様な目的の人が集うエリア

〈堺駅・堺旧港エリア〉
○広域アクセス性を活かした堺の玄関口
・関西国際空港、大阪都心へのアクセス性を活かしたエリア
○水辺を活かした魅力的な空間
・堺旧港・臨海部、環濠と接続した水辺を感じられるエリア

〈環濠エリア〉
○類いまれな歴史文化を活かした魅力的な空間
・町家・寺社・環濠など、歴史文化資源を活用し、魅力創出を図るエリア

堺都心部の活性化に向けて

コンセプト

多様な人が交流し、企業が集まる、堺の成長をけん引する魅力的な堺都心部
～新たな価値の創造と都市ブランドの確立～

取組方針

魅力を磨く　～地域資源を活かして魅力を高める～

・３エリア固有の地域資源を活かし来街者等を惹きつける場の創出

魅力を結ぶ　～人・地域・資源・情報・サービスをつなぐ～

・SMI（堺・モビリティ・イノベーション）プロジェクト
・道路、公園、民間空地など、地域の資源として存在する公民の既存ストック（都市アセット）の活用によるウォーカビリティの向上
・公共交通軸の強化や次世代モビリティ等の活用による、便利、快適かつ面的な移動環境の形成

魅力を育てる　～公民連携によりエリア価値を向上させる～

・市民、事業者、行政など様々なプレイヤーによるビジョンの共有
・公民の多様な主体による協働体制の構築と、持続可能な地域経営に向けた取組の推進



未来に向けた挑戦

これまでは、長期的な計画を固めた上で様々な取組を行ってきましたが、急速に時代が変化する今日、長期計画ではなく「ビジョンと目標」を公民で共有し、できることから素早く手掛け、その効果を検証しつつ、また環境の変化に対応しながら段階的に取組を積み重ねていくアプローチでプロジェクトを推進します。
まず、その第一歩として公共空間（道路、水辺、海辺、SMI）を中心とした人々の活動、交流、滞在を促す空間形成を進めます。

各エリアの取組の方向性

堺東エリア

クロス　プレイス　堺東
～訪れる・働く・住む人など多様な目的の人が集い・交流するエリアへ～

○観光・ビジネス・居住者など、多様な目的の人々が集う魅力的な都市空間の形成
○広場・道路等の公共空間を活用し、交流・滞在を促す居心地の良い人中心の空間の形成

魅力を磨く

駅街区の更新
・堺の顔となる商業、業務、宿泊等の充実による多様な目的の人が集う拠点の形成

瓦町公園周辺の更新
・商業・業務機能等の導入（再開発事業等）

魅力的な店舗が並ぶ通りの形成
・低未利用地等を活用し、商業機能を充実

商店街周辺の機能更新
・商業・業務機能等の更新
（リノベーション、規制緩和等による共同建替等）

魅力的な通りの形成
・低未利用地等を活用し、歩きやすく魅力的な通りの形成


瓦町公園周辺


堺東駅前周辺



※パースは、将来をイメージしたものであり
確定したものではありません

魅力を結ぶ

SMIプロジェクト
・次世代交通（ART）の導入
・次世代モビリティや自転車等の多様なモードによる回遊性の向上

シンボリックなウォーカブルパーク
・自動運転技術と車道・歩道・Minaさかいで憩い・交流する空間を形成
・Minaさかいの民間による運営
（指定管理者制度等）

駅街区の更新（駅前広場等）
・鉄道の連続立体交差化
・ARTステーション
・東西の駅前広場一体利用
・駅前に憩いの空間形成
・デッキによる安全な移動空間


大小路筋（市役所北側）

堺駅・堺旧港エリア

“Mizube”（水辺） Re-Design（リデザイン）
～堺の歴史を紡いできた水辺から新たな魅力が生まれ、国内外から人々が集うエリアへ～

○関空・国土軸を結ぶ関西の広域的なアクセスの中心、堺の玄関口として多様な交流を創出
○堺旧港の海辺や環濠につながる水辺、豊かな歴史・文化等を活かした居心地の良い交流空間を形成

魅力を磨く

堺の玄関口に相応しい拠点性強化
・周辺の低未利用地も活用した商業・業務・宿泊機能等の集積、駅前空間の更新、ターミナル機能等の強化
・国内外からのゲートウェイとして多様な交流を生む拠点の形成
・豊かな都市生活を育む拠点の形成
・水と緑の憩いの空間形成

堺旧港の賑わい創出
・大浜北町市有地活用事業（宿泊・賑わい・交流機能、回遊性に配慮したデッキ等）
・護岸及び護岸後背地の活用（商業機能等導入）
・ポンプ場用地の活用

海辺空間活用による新たな魅力の創出
・水上施設など新たな水面利用
・水上アクティビティ


堺旧港



※パースは、将来をイメージしたものであり
確定したものではありません

魅力を結ぶ

SMIプロジェクト
・次世代交通（ART）の導入
・次世代モビリティや自転車等の多様なモードによる回遊性の向上

駅街区の更新
・ARTステーション
・東西の駅前広場の一体利用

アクセスの充実、回遊性向上
・堺駅から堺旧港等へのアクセス、移動動環境の充実

海上交通
・大阪ベイエリアとの連携
・環濠との連携

堺駅前周辺

環濠エリア

環濠（CAN（カンゴー）　GO（ビヨンド））BEYOND
～歴史を紡いだ環濠エリアの新たな価値創造により人々が集うエリアへ～

○豊かな歴史文化資源や公共空間を活かし、環濠エリアならではの特別感のある空間形成
○伝統産業や歴史文化を活かした来訪魅力の創出
○居心地が良く歩きたくなるエリアに向けた空間形成と移動手段の多様化

魅力を磨く

環濠の水辺を活かした空間（環濠テラスの形成）
・水辺の日常利用、イベント活用の促進
・水辺アクティビティ（小型船、水上自転車等）の導入
・水辺に面した店舗等の立地を促進するインセンティブの導入
・水辺と周辺公共空間の一体的な活用
・水辺における情報発信・賑わい拠点の設置

堺消防署用地の活用
・環濠エリアを代表する顔
・賑わいが創出される場所


環濠水辺

※パースは、将来をイメージしたものであり
確定したものではありません



魅力を磨く

環濠北部の歴史的建造物の保全・活用
・指定文化財等を核とし、歴史風致維持向上のため、道路の美装化、無電柱化、建築物の修景などによりまちなみを形成
・回遊性を高める基盤整備等受け入れ環境の整備

魅力を結ぶ

SMIプロジェクト
・多様な移動手段で楽しみながら快適に移動
・次世代交通（ART）の導入
・阪堺線の利便性向上

豊かな歩行空間の形成（大道筋・大小路筋）
・イート＆レストなど賑わい空間充実に向けた道路空間の活用
・公園、民間空地等を活用した憩い滞在空間の形成
・沿道店舗等の誘致を促進するインセンティブ導入
・沿道建物の1階を都市と人に開いた空間として形成
・大道筋のシンボリックな空間の再構築



大道筋の中央に歩行者空間を整備したイメージ　大道筋の歩道を拡幅したイメージ

ターゲットとロードマップ

		短期～中期（～2030（令和12年）年） **2025（令和7）年**	長期（～2040（令和22）年）
ターゲット	市民等	公民パブリック空間等での活動や交流の促進 →	多様な活動や交流による新たな価値の創出
	来訪者	市内外からの来街を促進 →	周辺地域からの来訪地、観光客の立ち寄り地として定着
取組方針１ **魅力を磨く～地域資源を活かして魅力を高める～**		魅力あるエリア形成に向けた交流空間創出 →	多様な都市機能の導入・強化 市街地の更新、都市空間の再編
		歴史ある堺の伝統・文化を活用した取組の推進	
取組方針2 **魅力を結ぶ～人・地域・資源・情報・サービスをつなぐ～<SMIプロジェクト>**		道路等の公共空間の活用 →	道路や民地を含めた沿道空間を活用した滞在空間・交流空間の形成
		公共交通の利便性向上やバリアフリー化、次世代モビリティなどの活用 CaaSの導入 →	技術の進展等に応じた進化・更新
取組方針3 **魅力を育てる～公民連携によりエリア価値を向上させる～**		公民連携による段階的取組・機運醸成 →	組織による自立的なエリア運営
		制度検討、導入 → 組織による運営開始	